

平成 29 年度

解 答 と 解 説

《平成29年度の配点は解答用紙に掲載してあります。》

<数学解答> 《学校からの正答の発表はありません。》

1 (1) ①  $b=3-\sqrt{5}$     ② 0    (2) 3 : 4 : 3    (3) ① 3 : 1    ②  $\frac{1}{27}$  倍  
2 (1) 300    (2) 546    3 (1)  $\frac{3\sqrt{5}}{10}-\frac{1}{2}$     (2)  $\frac{1}{5}$     (3)  $\frac{5}{24}$   
4 (1) 13個    (2) 19個    (3)  $k=202$     5 (1)  $\frac{2\sqrt{6}}{3}$     (2)  $\sqrt{10}$

<数学解説>

1 (数の性質, 式の値, 図形と関数, 空間図形)

**基本** (1) ①  $2 < \sqrt{5} < 3$  より,  $-3 < -\sqrt{5} < -2$      $2 < 5 - \sqrt{5} < 3$     よって,  $a=2$      $b=5-\sqrt{5}-2=3-\sqrt{5}$

②  $\frac{1}{a-b} + \frac{1}{b-2} = \frac{1}{2-(3-\sqrt{5})} + \frac{1}{3-\sqrt{5}-2} = \frac{1}{\sqrt{5}-1} - \frac{1}{\sqrt{5}-1} = 0$

(2) 4点A, B, C, Dは $y=x^2$ 上の点だから, A(1, 1), B(2, 4), C(3, 9), D(4, 16)    4点A, B, C, Dから $x$ 軸にひいた垂線をそれぞれAE, BF, CG, DHとする。 $\triangle OAD = \triangle ODH - \triangle OAE -$   
 台形AEHD  $= \frac{1}{2} \times 4 \times 16 - \frac{1}{2} \times 1 \times 1 - \frac{1}{2} \times (1+16) \times (4-1) = 6$      $\triangle OBD = \triangle ODH - \triangle OBF -$   
 台形BFHD  $= \frac{1}{2} \times 4 \times 16 - \frac{1}{2} \times 2 \times 4 - \frac{1}{2} \times (4+16) \times (4-2) = 8$      $\triangle OCD = \triangle ODH - \triangle OCG -$   
 台形CGHD  $= \frac{1}{2} \times 4 \times 16 - \frac{1}{2} \times 3 \times 9 - \frac{1}{2} \times (9+16) \times (4-3) = 6$     よって,  $\triangle OAD : \triangle OBD : \triangle OCD = 6 : 8 : 6 = 3 : 4 : 3$

**重要** (3) ① OPは三角錐OBCDの高さに等しい。正四面体ABCD=三角錐OABC+三角錐OBCD+三角錐OCDA+三角錐ODAB  $= 4 \times$ 三角錐OBCD    ここで, 正四面体ABCD  $= \frac{1}{3} \times \triangle BCD \times AP$ ,  
 三角錐OBCD  $= \frac{1}{3} \times \triangle BCD \times OP$ だから,  $AP=4OP$     よって,  $AO : OP = (4-1) : 1 = 3 : 1$

**重要** ② 線分CDの中点をMとする。点Pは正三角形BCDの重心であるから,  $BP : PM = 2 : 1$     同様に,  $AQ : QM = 2 : 1$     よって,  $PQ \parallel BA$ ,  $PQ = \frac{1}{3} BA$ となる。同様に,  $PQ = QR = RS = SP$ だから, 四面体PQRSは正四面体で, もとの正四面体との相似比は1 : 3    したがって, 体積比は $1^3 : 3^3 = 1 : 27$ となり,  $\frac{1}{27}$ 倍

2 (数の性質)

(1)  $a^3 - a = a(a^2 - 1) = (a-1) \times a \times (a+1)$ より,  $a^3 - a$ は連続する3つの整数の積に等しい。 $100 = 2^2 \times 5^2$ より, 題意を満たす連続する3つの整数の組は, (23, 24, 25), (24, 25, 26), (48, 49, 50), (50, 51, 52), (74, 75, 76), (75, 76, 77)の6つある。よって, 求める値は,  $24+25+49+51+75+76=300$

- (2)  $91=7 \times 13$ より、題意を満たす連続する3つの整数の組は、 $(12, 13, 14)$ ,  $(13, 14, 15)$ ,  $(26, 27, 28)$ ,  $(63, 64, 65)$ ,  $(76, 77, 78)$ ,  $(77, 78, 79)$ ,  $(89, 90, 91)$ ,  $(90, 91, 92)$ ,  $(91, 92, 93)$ の8つある。よって、求める値は、 $13+14+27+64+77+78+90+91+92=546$

3 (平面図形の計量)

**重要** (1)  $O'E=O'Q=\frac{1}{2}OE=\frac{1}{2}$   $O'A=\sqrt{AE^2+O'E^2}=\sqrt{1^2+(\frac{1}{2})^2}=\frac{\sqrt{5}}{2}$  BCは直径だから、 $\angle BPC=90^\circ$   $\triangle BPA$ と $\triangle AEO'$ において、 $\angle APB=\angle O'EA=90^\circ$   $\angle ABP=90^\circ-\angle BAP=\angle O'AE$   
2組の角がそれぞれ等しいので、 $\triangle BPA \sim \triangle AEO'$   $AP:O'E=AB:O'A$   $AP=\frac{1}{2} \times 1 \div \frac{\sqrt{5}}{2}$   
 $=\frac{1}{\sqrt{5}}=\frac{\sqrt{5}}{5}$  よって、 $PQ=O'A-AP-O'Q=\frac{\sqrt{5}}{2}-\frac{\sqrt{5}}{5}-\frac{1}{2}=\frac{3\sqrt{5}}{10}-\frac{1}{2}$

**重要** (2) PからBOにひいた垂線をPFとする。 $\triangle ERO$ と $\triangle OFP$ において、OEは直径だから、 $\angle ORE=90^\circ$  よって、 $\angle ORE=\angle PFO=90^\circ \dots \textcircled{1}$  半円Oの半径だから、 $OE=PO=1 \dots \textcircled{2}$   $EO \parallel PF$ より、平行線の錯角だから、 $\angle EOR=\angle OPF \dots \textcircled{3}$   $\textcircled{1}$ ,  $\textcircled{2}$ ,  $\textcircled{3}$ より、直角三角形の斜辺と1鋭角がそれぞれ等しいので、 $\triangle ERO \cong \triangle OFP$  よって、 $OR=PF$  ここで、平行線と比の定理より、 $PF:AB=CP:CA=(\frac{\sqrt{5}}{2} \times 2 - \frac{\sqrt{5}}{5}) : \frac{\sqrt{5}}{2} \times 2 = 4:5$  したがって、 $PF=\frac{4}{5}AB=\frac{4}{5}$   
よって、 $PR=OP-OR=1-\frac{4}{5}=\frac{1}{5}$

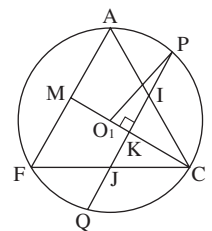
**重要** (3) PFとO'Sとの交点をTとする。平行線と比の定理より、 $PT:O'O=PR:RO=\frac{1}{5}:\frac{4}{5}=1:4$   
よって、 $PT=\frac{1}{4}$   $O'O=\frac{1}{8}$   $PT:AS=O'P:O'A=(\frac{\sqrt{5}}{2}-\frac{\sqrt{5}}{5}):\frac{\sqrt{5}}{2}=3:5$  したがって、 $AS=\frac{5}{3}PT=\frac{5}{4}$

4 (格子点)

- 基本** (1)  $y=x^2$ と $y=5$ から $y$ を消去して、 $x^2=5$   $x \geq 0$ より、 $x=\sqrt{5}$   $2 < \sqrt{5} < 3$ より、格子点は、 $(0, 0)$ ,  $(0, 1)$ ,  $\dots$ ,  $(0, 5)$ ,  $(1, 1)$ ,  $(1, 2)$ ,  $\dots$ ,  $(1, 5)$ ,  $(2, 4)$ ,  $(2, 5)$ の $6+5+2=13$ (個)  
(2) 題意を満たすとき、 $y=k$ 上の格子点は、 $(0, k)$ ,  $(1, k)$ ,  $\dots$ ,  $(9, k)$ の10個である。点 $(9, k)$ が $y=x^2$ 上にあるとき、 $k=9^2=81$  点 $(10, k)$ が $y=x^2$ 上にあるとき、 $k=10^2=100$  よって、求める $k$ は $k=81$ から $100-1=99$ までの $99-80=19$ (個)  
(3)  $k=m^2$ のとき、 $y=k$ 上の格子点は $m+1$ 個あり、 $k=(m+1)^2$ のとき、 $y=k$ 上の格子点は $m+2$ 個あるから、直線 $y=m^2$ 、直線 $y=(m+1)^2-1$ 、放物線 $y=x^2$ 、および $y$ 軸で囲まれた図形の周上および内部にある格子点の数は $(m+1)(2m+1)$ 個となる。 $m=0, 1, 2, 3, \dots, 13$ をそれぞれ代入して、和を求めると、 $1+2 \times 3+3 \times 5+4 \times 7+5 \times 9+6 \times 11+7 \times 13+8 \times 15+9 \times 17+10 \times 19+11 \times 21+12 \times 23+13 \times 25+14 \times 27=1+6+15+28+45+66+91+120+153+190+231+276+325+378=1925$   $14^2=196$ より、 $y=196$ 上の格子点は15個となるから、 $(2017-1925) \div 15=6$ 余り2より、 $y=202$ のとき、領域Dの格子点の数は $1925+15 \times 7=2030$ となる。よって、最小の $k$ の値は202

5 (空間図形の計量)

**重要** (1)  $\triangle AFC$ は1辺の長さが $AC=\sqrt{2}AB=2\sqrt{2}$ の正三角形で、 $O_1$ は $\triangle AFC$ の重心だから、線分AFの中点をMとすると、 $CO_1=\frac{2}{3}CM=\frac{2}{3} \times (\frac{\sqrt{3}}{2} \times 2\sqrt{2})$   
 $=\frac{2\sqrt{6}}{3}$  よって、円 $O_1$ の半径は $\frac{2\sqrt{6}}{3}$



**重要** (2)  $\triangle AFC$ と $\triangle BGD$ は線分ACの中点Iと線分FCの中点Jとを結ぶ線分IJを共